

# 感染症 ひとくち情報

## ジカウイルス感染症とは？



2016年9月12日

東京都健康安全研究センター

### 1. ジカウイルス感染症とは

ジカウイルス感染症（ジカ熱）は、ジカウイルスに感染することで生じる感染症です。主に、ジカウイルスを持った蚊（ネッタイシマカ・ヒトスジシマカ）に刺されることによって感染します。

症状は、軽度の発熱・頭痛・関節痛・筋肉痛などです。また、感染しても全員が発症するわけではなく、症状がないか、症状が軽いため気がつかないこともあります。

現在、ワクチンはありません。特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法が行われます。

ジカウイルス感染とギラン・バレー症候群<sup>※</sup>との関連性が明らかになっており、また、小頭症などの先天性障害を来すことがあるとされています。

#### ※ギラン・バレー症候群

ギラン・バレー症候群は急性の末しょう神経障害で、運動麻痺を起こし、両手両足に力が入らなくなり動かせなくなります。症状は遅くとも1か月以内にピークに達し、その後徐々に回復、6～12か月で多くの患者はほぼ完全に回復します。

### 2. 発生が報告されている地域について

感染リスクのある地域は、アフリカ、中央・南アメリカ、アジア太平洋地域で、近年はブラジルを中心に中南米に感染が拡大しています。日本との人の行き来の多い東南アジア地域でも流行しています。

近年、ブラジルにおいて小頭症の新生児が増えており、ジカウイルスとの関連が示唆されています。このため、妊婦及び妊娠予定の方は流行地域への渡航を控えてください。

やむを得ず渡航する場合は、厳密な防蚊対策を講じることが必要です。※最新情報に関しては、FORTH/厚生労働省検疫所ホームページよりご確認ください。<http://www.forth.go.jp/>



### 3. 予防対策と症状が出現した場合の対応について

流行地域では、長袖、長ズボンを着用して、蚊の忌避剤を使用し、蚊に刺されないように注意しましょう。

流行地域から帰国された際は、症状の有無に関わらず、帰国日から2週間程度、蚊に刺されないように注意してください。

心配な事がある方は、検疫所または最寄りの保健所等にご相談ください。



東京都感染症情報センターの「ジカウイルス感染症（Zika Virus Infection）」のページもご参照ください。

ジカウイルス感染症 東京都

検索

